

# のんびり 東部緑地を歩く

厚別区上野幌から清田区にかけて広がる東部緑地。川のせせらぎや鳥のさえずりに耳を傾けたり、傍らの樹木や草花、小さな生き物を眺めたり、広大な自然林の中でゆったりとした時間を過ごしてみませんか。



自然の中で、パークゴルフやパットゴルフが楽しめます



大曲川には、数は少ないですが魚もすんでいます



ありのままの自然を楽しむ



豊かな自然が残る東部緑地。大曲川が緑地の東側を流れ、川に向かって下がる斜面にはミズナラやコナラを中心とする自然林が広がっています。林では、枝を飛び移るエゾリスや野鳥が、河畔では、湿地を好むヤナギやガマなどが生い茂り、カエルやトンボといった水辺の生き物が見られます。ここでは、環境に合ったさまざまな種類の植物や生き物が生育しています。

全長約一・五キロメートルの遊歩道を歩いて、四季折々の自然に触れてみましょう。樹木が芽吹き、葉が少ない春は、枝で休む野鳥の姿がよく見えます。キタコブシなどの白い花が一斉に咲き、ミズバショウが咲く湿地ではエゾアカガエルの卵がたくさん見付けられます。夏には青々

と茂った林の中を、オオルリなど夏の渡り鳥の美声を耳にしながら森林浴。木道の上をオニヤンマがゆうゆうと飛んでいきます。ハウチワカエデやヤマモミジをはじめとする、秋の紅葉も見事です。自然と触れ合うとき、気を付けたいのがマナーを守ること。東部緑地や平岡公園で、子供たちと自然を楽しむ活動などを行っている、平岡どんぐりの森の代表荒井美和子さんは「植物でも動物でも、野にあるものは野において楽しみたいですね。また、家で飼えなくなった金魚やカメなどのペットを池や川に放すのは、在来の生物に悪影響を及ぼすことがあるのでやめてほしいです」と話します。自然のルールを壊さずに、自然と親しむことが大切です。

## 守って！自然と触れ合うマナー

- 枝や草花、動物を傷めない
- ごみは持ち帰る
- 喫煙・たき火はしない
- 標識や施設を大切にす
- 家で飼えなくなったカメなどのペットを池や川に放さない

